

## 2 指導の重点

## (1) 各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動等

## ア 各教科

(ア) 各学力調査等の結果を分析・活用して授業改善推進プランを作成し、学力向上及び言語活動の充実に努める。

(イ) 東京ベーシックドリルを活用するとともに、学習で得た知識及び技能を活用する学習活動の充実に努める。

(ウ) ・習熟度別ガイドラインに基づいた少人数指導・習熟度別指導を充実させ、個に応じた指導の充実に努める。更に、学習支援員を活用して土曜スクール・放課後スクールを実施し、基礎学力の定着と向上を図る。

## イ 道徳科

(ア) 特別の教科道徳の全体計画・年間指導計画に基づき、道徳教育推進教師を中心に、道徳的な心情、判断力、実践意欲等の道徳性を養う。

(イ) 道徳授業地区公開講座を実施し、家庭や地域社会との共通理解・連携を深め、豊かな心を育む。

## ウ 外国語活動

各教員の指導力を高めるとともに、ALTを活用して体験的な活動を展開し理解を深める。また、全学年で外国語活動を実施し、外国語の基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーション能力の素地を養う。

## エ 総合的な学習の時間

(ア) 地域の自然、歴史、文化、人材等を活用して体験的、探究的活動を行い、主体的、創造的、協働的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

(イ) 総合的な学習の時間の全体計画・年間指導計画に基づき、環境、国際理解、福祉、伝統文化、キャリア教育について、自ら課題を見つけ、学び、考え、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。

## オ 特別活動

(ア) 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

## (2) 特色ある教育活動

(ア) 歌声の響く学校を目指し、音楽の授業、学級や全校での合唱等、歌を愛好する場の充実に努める。

(イ) 全校で取り組むなわ跳び週間、持久走週間等の活動を通して、運動に親しむ態度を養う。

(ウ) 毎月家庭学習週間を位置付けるとともに、学力低位層を中心に基礎学力の定着を目指し、個別指導の充実に努める。

(エ) 特別支援学級との交流を年間計画に位置付け、児童の相互理解、所属感、連帯感を高める。

(オ) 個の状況に応じた教室サポートを計画し、基礎学力の定着を図る。

(カ) 日本の伝統や文化について理解を深めると共に、国際社会において活躍できる人材の育成に努める。

(キ) オリンピック・パラリンピック教育の基となる語学力の向上や国際理解に向けたクリケットの活用及び児童が学校の人権尊重の精神に基づく国際理解の在り方を、学校のレガシーとして味わえる取組を推進し、自己肯定感や積極性を高める。

(ク) 児童の安心・安全な学校生活を目指し、「昭島市公立学校のユニバーサルデザイン」に基づき、教育環境を整える。

(ケ) 児童の発達の状況を正確に把握するとともに、保護者及び関係機関との連携を図り「共成小大空」の取り組みを充実させる。

## (3) 生活指導・進路指導

## ア 生活指導

(ア) 挨拶は自然にできるように日々励行し、規律ある生活態度など、基本的生活習慣の定着を図る。

(イ) 児童が自らの身を守ることができるように、セーフティ教室や交通安全教室等を実施する。

(ウ) 不登校、いじめ解消を目指し、学級満足度調査の結果等を学級経営に生かす。

(エ) いじめの未然防止、早期発見を目指し、個人面談や家庭訪問の機会を活用し、情報の収集に努め適切な対応を図る。

(オ) 自他の生命を大切にすることを養うために、東京都のDVD教材等を活用し自殺防止に向けた指導を充実させる。

## イ 進路指導

(ア) 奉仕活動等の体験的な活動を通して、自己の将来に対する希望を醸成し、健全な目的意識をもてるキャリア教育、進路指導に推進する。

(イ) 幼稚園や保育園との連携の充実、小中一貫の日による授業参観等を通して、小中一貫教育を目指す。